

平成29年度の 事業計画と収支予算が決まりました 第114回組合会開催報告

去る2月14日(火)に第114回組合会を開催し、

平成29年度の事業計画ならびに収入支出予算が承認されました。

(本文中の予算額等は百万円未満四捨五入で表記しています)

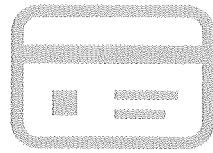


概要

納付金等が増加するも保険料率は維持

近年、高齢化の進展や医療技術の進歩、医薬品の高額化などにより、医療費は増加を続け、平成27年度の国民医療費は過去最高の41兆5000億円(前年度比3・8%増)に達しています。また、後期高齢者支援金については、本年度から、全面総報酬割による算定となりました。

こうしたなかで平成29年度の予算編成は、医療費などの保険給付費、高齢者医療にかかる納付金等とともに増加(図参照)



し、特に全面的に総報酬割の算定となった後期高齢者支援金が大幅増となりました。

また、保険給付費、納付金等のために要する実質保険料率は、前年度予算比1・81ポイント増の99・18%となりましたが、別途積立金から10億5000万円を繰入れ、保険料率95%を維持する予算としました。

なお、事業については、疾病予防事業を中心とした効率的、効果的な保健事業を実施し、さらにデータヘルス計画に基づく重症化予防に引き続き取組んでいくこととしています。

収入

被保険者数・標準報酬月額が回復基調

平成29年度予算の基礎数値は、被保険者数を前年度予算比500人増の3万2000人、平均標準報酬月額も1400円

